7月30日未明の大雨に伴う魚沼市大白川（おおしらかわ）地区地すべり災害の状況について

国土交通省北陸地方整備局
湯沢砂防事務所

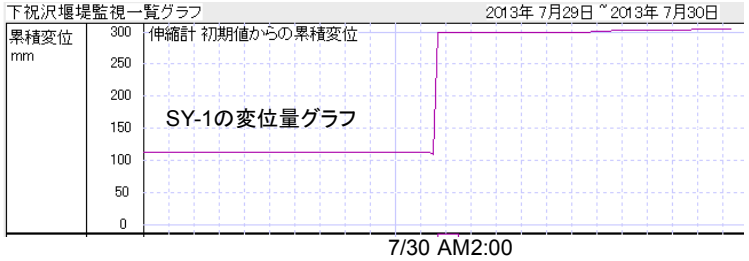
平成25年7月30日
18時00分

1. 降雨の状況

・アメダス入広瀬雨量観測所（新潟地方気象台）では、7/29 8:20からの連続雨量が215mmに達し、時間雨量は、最大で**7/30 午前1:00から2:00までの一時間に69mmを観測**。

2. 観測機器の数値

・**7/30 午前2時頃　伸縮計SY-1で約190mmの変位**を確認。**同時刻にS-2伸縮計はデータ取得が不可能**になっており**顕著な地すべり活動発生の兆候を確認**。



3. 湯沢砂防事務所の対応

・伸縮計の急激な数値上昇を受け、湯沢砂防事務所**は7月30日午前3:00に注意体制（風水害）を発令**。
・**午前4:10 現地調査のため、職員2名を派遣**。
・午前7:20頃から現地調査開始。
・7月30日 午後より、災害協定業者による現地詳細調査開始。

5. 現状認識

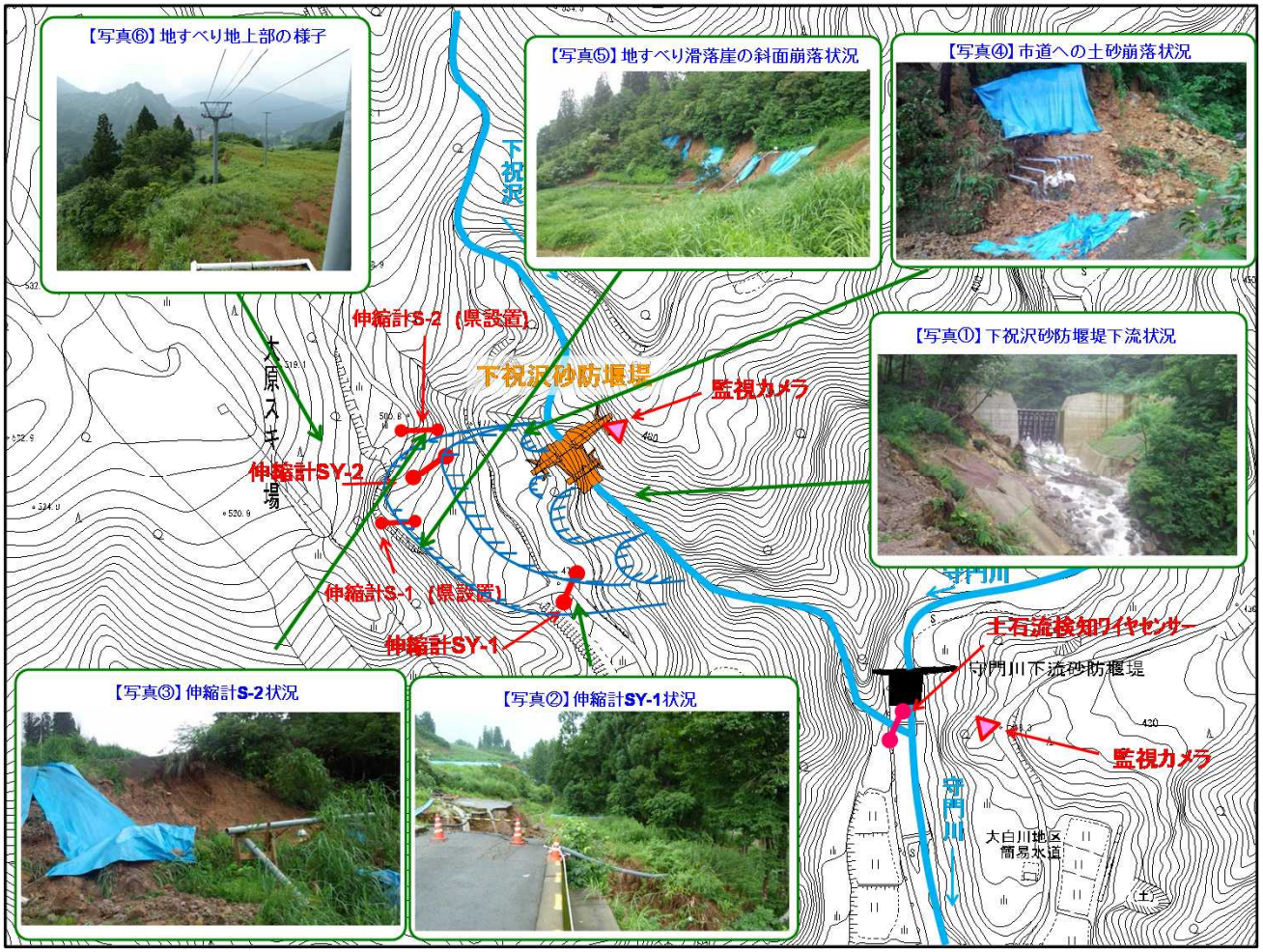
・伸縮計の変位の原因が、地すべりによるものか、部分的な表層崩壊によるものかどうかは、現時点では断言できないが、**下祝沢に大量の土砂が流れ込む恐れは低いと判断され、危険度が著しく高まっている状況ではない**。
・引き続き観測・監視を継続する。
・破損している機器については復旧が必要。

6. 今後の対応予定

・**明朝から移動杭観測**を行い、地すべり地全体の動きを調査予定。
・排水ボーリングの効果を適切に発揮させるため、破損した排水管の早期補修。
・関係機関と連携し、監視観測機器の復旧と、対策工事の早期着手に努める。

4. 現地確認状況

・**下祝沢への土砂流出及び土砂堆積は確認されない。（写真①）**
・SY－1伸縮計付近は、表層崩壊が確認される。（写真②）
・S－2伸縮計付近では、表層崩壊が発生している。発生した崩壊土砂は、下部の市道にまで達しており、**S－2伸縮計は損壊**している。（写真③、④）
・地すべり頭部の滑落崖沿いに小崩壊が複数確認される。（写真⑤）
・滑落崖の上部斜面にクラック等は確認出来ず、大原スキー場のリフト支柱にも変状は確認出来ない。このことから、**これまでよりも大きな地すべりが発生している恐れは低い**。（写真⑥）
・これまでに施工した5群の**排水ボーリングの機能は確保されている**が、集水後の排水管が破損しており、ボーリングからの排水が地すべり地内に流入している状況。
・**SY－1、SY－2、S－1の各伸縮計は、適切に稼働していると考えられる**。



【写真⑥】地すべり地上部の様子
【写真⑤】地すべり滑落崖の斜面崩落状況
【写真④】市道への土砂崩落状況
【写真①】下祝沢砂防堰堤下流状況
【写真③】伸縮計S-2状況
【写真②】伸縮計SY-1状況
下祝沢
伸縮計S-2 （県設置）
下祝沢砂防堰堤
監視カメラ
大原スキー場
伸縮計SY-2
伸縮計S-1 （県設置）
伸縮計SY-1
守門川
土石流検知ワイヤセンサー
守門川下流砂防堰堤
監視カメラ
守門川
大白川地区
簡易水道

大白川地区地すべり　H25.7.30豪雨による影響

Ｓ－２伸縮計の損壊

７月２６日

７月３０日

大白川地区地すべり　H25.7.30豪雨による影響

下祝沢砂防堰堤下流部の
状況に大きな変化は無い

7月26日

7月30日

大白川地区地すべり　H25.7.30豪雨による影響

地すべり全景
（一部斜面崩壊に伴う立木の流出）

７月２６日

７月３０日